

自然共生課

自然共生保全費	105
オフセット・クレジット推進事業費	106
清流保全推進事業費	107
四万十川総合対策費	108
希少動植物保護対策事業費	109
自然公園等施設整備事業費	111
自然公園等管理費	112
牧野植物園管理運営費	114
豊かな環境づくり総合支援事業費	116
環境活動支援センター事業費	117
公園施設等災害復旧事業費	118
自然保護基金管理費（特別会計）	118

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
自然共生保全費	5,545	5,545	10,406		(諸) 29	10,377

I 環境影響評価推進費 (1,067千円 (-)1,067千円)

1 目的

環境保全の総合的な推進を図るために、大規模な開発事業計画に先立って環境影響評価（アセスメント）の審議等を行う。

2 内容

(1) 委員報酬 540千円 (環境影響評価技術審査会委員報酬)

(2) 事務費 527千円

II 自然共生保全事務費 (9,339千円 (-)9,310千円 (諸)29千円)

1 目的

環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

2 内容

(1) 負担金 15千円 (公益財団法人日本自然保護協会負担金)

(2) 事務費 9,324千円

事業名	令和5年度	令和5年度	令和6年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	8,180	8,180	8,122		(諸) 6,475	1,647
I 高知県版 J-クレジット制度等運営事業費 (3,491 千円 (-)1,647 千円 (諸)1,844 千円) 1 目的 県内の森林資源を活用した森林吸収及び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版 J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。 2 内容 (1) オフセット・クレジット認証センター運営等委託 (3,409千円 (-)1,647千円 (諸)1,762千円) 委託先：一般社団法人高知県山林協会 (2) 事務費 (82千円 (諸)82千円) 3 令和5年度までに実施した主な事業 高知県版クレジット制度のプロジェクト登録等の状況 ・プロジェクト登録件数(累計) 12件 (R5:新規登録なし) ・クレジット発行量(累計) 10,444t-CO₂ (R5:新規発行なし) ・クレジット無効化量(累計) 3,896t-CO₂ (R5:175t-CO₂) II CO2木づかい運動推進事業費 (90 千円 (諸)90 千円) 1 目的 県産材を用いた木造住宅や木造建築施設、木製品の二酸化炭素固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、県産材の利用を促進する。固定量の算出認証事務は、I 2 (1) の委託で実施。 2 内容 (1) 事務費 (90 千円 (諸)90 千円) III オフセット・クレジット販売促進等事業費 (4,541千円 (諸)4,541千円) 1 目的 排出削減クレジット及び森林吸収クレジットの販売促進を図るため、首都圏などで開催される環境系イベントへの出展や環境先進企業への訪問、オフセットプロバイダーへの販売委託を行い、低炭素社会のトップランナーとしての役割を果たす。 2 内容 (1) オフセット・クレジット市場拡大事業委託 (3,300千円 (諸)3,300千円) 委託先：オフセットプロバイダー 契約方法：随意契約 (2) 事務費 (1,241千円 (諸)1,241千円) 3 令和5年度までに実施した主な事業 オフセット・クレジットの発行(単位はt-CO₂) ・木質資源エネルギー活用事業 20,257 H20:899 H21:1,932 H22:3,089 H23:2,534 H24:5,400 H25:6,403 ・森林吸収量取引プロジェクト 2,305(うちバッファ68) H22:285 H25:2,020 クレジット売却状況 ・累計 726件 売却等済み 13,774 H20:899 H21:1,742 H22:1,743 H23:1,658 H24:591 H25:1,744 H26:478 H27:328 H28:363 H29:336 H30:444 R1:872 R2:702 R3:693 R4:578 R5:603						

事業名	令和5年度	令和5年度	令和6年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1,220	1,220	4,246		(入) 696	3,550

I 清流保全条例推進事業費 (3,462千円 (-)3,462千円)

1 目的

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国、流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

2 内容

- (1) 仁淀川清流保全計画改訂等委託料 (計画改訂業務) (2,790千円 (-)2,790千円)
- (2) 仁淀川清流保全計画改訂等委託料 (印刷業務) (141千円 (-)141千円)
- (3) 事務費 (531千円 (-)531千円)

3 令和5年度に実施した主な事業

- (1) 物部川清流保全推進協議会の取組
 - ・代かき時期における濁水対策、軽減に向けた啓発
 - ・子どもたちの環境学習
 - ・清流保全活動の普及啓発 等
- (2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組
 - ・川の安全教室
 - ・仁淀川一斉清掃
 - ・子どもたちの環境学習 等

II 清流保全計画指標モニタリング事業費 (696千円 (入)696千円)

1 目的

清流保全計画に基づく取組の進捗状況を把握・検証するデータを収集するとともに、流域の小学生らが環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことができるように支援する。

2 内容

- (1) 事務費 696千円

III 協働の川づくり事業費 (88千円 (-)88千円)

1 目的

森と密接な繋がりを持つ川の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

2 内容

- (1) 事務費 (88千円 (-)88千円)

3 令和5年度に実施した主な事業

協働の川づくり事業パートナーズ協定8者との協働活動
(内訳)

アサヒビール株式会社、高知食糧株式会社、有限会社高知アイス、株式会社あさの、株式会社伊藤園、株式会社四万十ドラマ、株式会社サンプラザ、株式会社土佐山田ショッピングセンター

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	16,225	13,874	14,383		(入) 590	13,793

I 四万十川総合調整事業費（12,286千円（-）12,286千円）

1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国、愛媛県、流域市町、関係団体、住民団体等との連携を図るとともに、保全と振興の実践団体である四万十川財団の事業を支援する。

2 内容

(1) 四万十川財団運営費補助金（12,286千円（-）12,286千円）

四万十川流域の保全と振興への対策を推進する中核的実践組織として設立した四万十川財団を支援するため、管理運営費の一部を助成する。

補助先：公益財団法人四万十川財団

3 令和5年度に実施した主な事業

- ・ 文化的景観連絡協議会、四万十川総合保全機構等との連携による流域の振興及び保全を図る取組
- ・ 環境学習の運営等による住民協働の流域振興を図る取組

II 四万十川条例推進事業費（2,097千円（-）1,507千円（入）590千円）

1 目的

四万十川の保全と流域の振興を図ることを目的とした四万十川条例の規定に基づき、重点地域における許可制度の運用等により、生態系や景観の保全を図るとともに、共生モデル地区の取組を推進する。

2 内容

(1) 四万十川流域保全振興委員会委員報酬（117千円（-）117千円）

四万十川条例に関する重要事項等を調査審議するために設置した四万十川流域保全振興委員会を運営する。

(2) 重点地域等管理費（1,390千円（-）1,390千円）

四万十川の保全を重点的に進めるために指定した重点地域において、許可制度の運営等を充実させるとともに、共生モデル地区の取組を推進する。

(3) 清流基準モニタリング事業費（590千円（入）590千円）

四万十川の水質保全に関する総合的な対策の推進を図るため、モニタリング調査により、清流基準達成状況を把握する。

3 令和5年度に実施した主な事業

- ・ 重点地域における四万十川条例許可制度の運用
- ・ 四万十川清流基準モニタリング調査による四万十川の水質の把握

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	38,804	38,804	36,445	1,750	(入)29,262	5,433

I 保護対策事業費（20,849千円（-）2,993千円（国）1,750千円（入）16,106千円）

1 目的

高知県希少野生動植物保護条例、うみがめ保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の調査や保護対策等を行う。また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

2 内容

（1）野生生物分布調査業務委託（7,247千円（入）7,247千円）

地域環境を把握し、変化をモニタリングするための野生動植物調査及びデータベースの整備、モニタリング体制を担う人材の育成を行う。

契約先：認定NPO法人四国自然史科学研究センター

契約方法：随意契約

（2）野生植物分布調査業務委託（8,859千円（入）8,859千円）

県民参加型の植物調査を通じて環境保全の人材育成及び普及啓発を行う。

契約先：公益財団法人高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

（3）サンゴ保全事業運営委託（759千円（-）759千円）

サンゴの保全のための人材育成講習開催及び令和3年度に設立したサンゴネットワークの運営に係る支援業務を行う。

契約先：公益財団法人黒潮生物研究所

契約方法：随意契約

（4）特定外来生物分布調査委託料（3,500千円（国）1,750千円（-）1,750千円）

アルゼンチンアリの分布範囲を特定し、防除計画を作成するための資料とする。

契約先：未定

契約方法：指名競争入札

（5）事務費（484千円（-）484千円）

3 令和5年度に実施した主な事業

- ・地域環境を把握し、変化をモニタリングするための野生動植物調査の実施（2年目）
- ・県沿岸のサンゴ群集の分布等の調査実施及びこうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワーク会議開催
- ・ツキノワグマ対応マニュアルの作成

II 希少野生植物食害対策事業費（13,156千円（入）13,156千円）

1 目的

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置、既設ネット設置箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

2 内容

（1）調査業務委託（2,596千円（入）2,596千円）

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画の作成を委託する。

委託先：公益財団法人高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

(2) 防護柵設置業務委託 (979千円 (入)979千円)

防護柵設置計画に基づいた柵の設置業務を委託する。

委託先：県内森林組合等

契約方法：随意契約

(3) モニタリング調査業務委託 (9,581千円 (入)9,581千円)

前年度までに設置した防護柵の効果を把握するためのモニタリング、防護柵の状態確認や簡易補修を委託する。

委託先：株式会社西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

3 令和5年度に実施した主な事業

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等の実施

- ・調査箇所 5か所
- ・防護ネットの設置 1か所 延長50m
- ・既設ネット箇所の点検、モニタリング 全箇所(52か所) 点検、モニタリング15/56か所

Ⅲ 生物多様性地域戦略推進事業費 (2,440千円 (-)2,440千円)

1 目的

生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理を行う。

2 内容

(1) 生物多様性地域戦略概要版パンフレット作成業務委託 (297千円 (-)297千円)

委託内容：生物多様性地域戦略(令和6年度改定)の概要版パンフレットの作成

委託先：未定

契約方法：一般競争入札

(2) 生物多様性フォトコンクール募集チラシ作成業務委託 (104千円 (-)104千円)

委託内容：生物多様性フォトコンクールの募集チラシの作成

委託先：未定

契約方法：随意契約

(3) 事務費 (1,823千円 (-)1,823千円)

3 令和5年度に実施した主な事業

生物多様性地域戦略の普及啓発

- ・生物多様性こうち戦略【2024改定版】案作成
- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録者数 新規登録20人(累計：111人)

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	40,351	27,261	45,011	24,889	(債) 8,800	11,322

I 自然公園等リフレッシュ事業費

1 目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を改修し、訪れる観光客の快適な利用や安全を確保する。

2 内容

(1) しらさ岬園地環境調査委託業務（5,621千円（-）392千円（国）2,529千円（債）2,700千円）

しらさ岬園地整備にかかる環境調査を行う。

(2) 土木システム保守管理委託（632千円（-）632千円）

土木行政総合システム改訂等を委託する。

委託先：システム事業者

契約方法：随意契約

(3) 施設整備工事請負費（21,950千円（-）10,157千円（国）5,693千円（債）6,100千円）

・足摺岬園地白山洞門遊歩道等改修工事（300千円（-）51千円（国）149千円（債）100千円）

・四国のみち看板等改修工事（9,020千円（-）561千円（国）4,059千円（債）4,400千円）

・足摺岬万次郎像西倉庫撤去工事（8,830千円（-）8,830千円）

・室戸岬園地駐車場等改修工事（3,300千円（-）215千円（国）1,485千円（債）1,600千円）

・四国カルスト自然探勝路標識工事（500千円（-）500千円）

(4) 自然環境整備交付金（16,500千円（国）16,500千円）

見残園地の遊歩道整備への補助

実施主体：土佐清水市

補助率：50%

(5) 事務費（308千円（-）141千円（国）167千円）

3 令和5年度に実施した主な事業

・四国のみち看板等改修工事

案内板や解説版、指導標識等の板面取替56基、撤去新設7基、新設1基、撤去1基

ベンチ等の研磨塗装など

・大岐海岸園地遊歩道等改修工事

遊歩道改修（舗装工等）

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	27,417	27,417	29,910		(使) 28 (諸) 5,100	24,782

I 自然公園管理費（1,564千円（-）1,536千円（使）28千円）

1 目的

「自然公園法」及び「高知県立自然公園条例」により指定された足摺宇和海国立公園、3国定公園及び18県立自然公園の保護管理を充実させるとともに公園利用の適正化を図る。

2 内容

（1）四国のみちポータルサイト製作運用協議会負担金（100千円（-）100千円）

四国4県連携推進費で作成した「四国のみちポータルサイト」の維持管理
負担率：25%（四国4県で負担）

（2）現地調査等に要する活動旅費や公園施設の修繕費等（1,464千円（-）1,436千円（使）28千円）

II 県立こどもの森管理運営費（14,129千円（-）9,029千円（諸）5,100千円）

1 目的

「高知県立月見山こどもの森の設置及び管理に関する条例」に基づき設置された月見山こどもの森の施設管理運営を行う。

2 内容

（1）月見山こどもの森管理運営委託（11,930千円（-）6,830千円（諸）5,100千円）

県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理運営を委託する。

指定期間：R5.4.1～R10.3.31（5年間）

指定管理者：情報交流館ネットワーク

（2）事務費（2,199千円（-）2,199千円）

3 令和5年度に実施した主な事業

県立月見山こどもの森の管理運営委託

- ・年間利用者数 24,367人
- ・木の実クラフト教室、クリスマスオーナメント作り
- ・地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

III 四国のみち管理費（5,470千円（-）5,470千円）

1 目的

昭和56年度から平成元年度までに整備した長距離自然歩道（四国のみち）の維持管理を地元市町村等に委託し、利用の促進と保守点検に努める。

2 内容

(1) 四国のみち管理委託 (5,455千円 (-)5,455千円)

昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理を委託する。

委託先：18市町村、高知市シルバー人材センター、野根山街道保存協議会

路線数：36ルート(延長411.0km)

(2) 四国のみち休憩所・園地借地料 (15千円 (-)15千円)

3 令和5年度に実施した主な事業の実績

四国のみち管理委託 36ルート、411.0kmの草刈り等

IV 自然公園指導員活動強化事業費 (237千円 (-)237千円)

1 目的

自然公園の適正な保護と利用を促進するため、「高知県自然公園指導員設置要綱」を定め、自然公園指導員を配置するとともに、指導員の資質向上を図るため研修会を開催する。

2 内容

(1) 自然公園指導員の活動に係る経費

研修会開催費、災害補償保険等

V 四国カルスト公園施設管理運営費 (8,510千円 (-)8,510千円)

1 目的

「高知県四国カルスト県立自然公園公園施設の設置及び管理に関する条例」に基づき設置された公園施設の施設管理運営を行う。

2 内容

(1) 四国カルスト公園施設管理運営委託 (5,264千円 (-)5,264千円)

高知県立四国カルスト県立自然公園公園施設の指定管理者による管理運営を委託する。

指 定期 間：R 5 . 4 . 1～R 8 . 3 . 31 (3年間)

指定管理者：一般財団法人天狗荘

(2) 四国カルスト自然探勝路植生回復調査委託 (2,156千円 (-)2,156千円)

四国カルスト自然探勝路の植生回復試験区域の植生回復調査及びこれまで自然探勝路で確認されなかった植物(外来種及び在来種)のモニタリング調査(記録及び駆除)を委託する。

委 託 先：未定

契 約 方 法：指名競争入札

(3) 事務費 (1,090千円 (-)1,090千円)

3 令和5年度に実施した主な事業の実績

四国カルスト公園施設管理運営委託

- ・年間利用者数 62,228人
- ・動植物観察会及び学習会の開催など自然体験の機会創出につながる取組
- ・つのフェスの開催など地域振興等に貢献する取組
- ・カフェの運営など公園施設の活用事業としての取組

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理 運営費	694,969	694,969	994,284		(使) 113 (債) 423,500	570,671

I 牧野植物園管理運営費（508,157千円（-）508,044千円（債）113千円）

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供するため、牧野植物園の管理を指定管理者に行わせる。

2 内容

（1）管理等委託

牧野植物園の指定管理者による管理運営を委託する。

指定期間：R6.4.1～R9.3.31（3年間）

指定管理者：公益財団法人高知県牧野記念財団

イベント等の開催：

①春のフラワーショー（R6.3.23からR6.5.19まで）

②牧野富太郎生誕記念「マキノの日」－無料開園－（R6.4.24）

③食中植物展（R6.7.20からR6.8.31まで）

④「牧野富太郎 meets 山田壽雄-画家山田壽雄の植物図の世界－」

（R6.8.10からR6.11.4まで） 他

3 令和5年度に実施した主な事業の実績

牧野植物園入園者数 466,200人

イベント等の開催：

①春のフラワーイベント「春らんまん まきの花物語」（R5.3.25からR5.6.4まで）

②菅原一剛「MAKINO 植物の肖像」企画展（R5.7.15からR5.10.1まで）

③「牧野富太郎物語」企画展（R5.11.3からR6.5.12まで）

④ラン展（R6.2.10からR6.3.3まで） 他

II 管理運営費（本課）（204,400千円（-）26,700千円（債）177,700千円）

1 目的

牧野植物園の管理運営等に係る自然共生課の運営費

2 内容

（1）測量設計等委託料

・本館木製窓枠修繕設計委託料（1,804千円（-）1,804千円）

・展示館屋根修繕工事監理委託料（1,486千円（-）186（債）1,300千円）

（2）工事請負費

・展示館屋根修繕工事請負費（196,036千円（-）19,636（債）176,400千円）

(3) 事務費

- ・指定管理者事業評価委員会の運営ほか（ 5,074千円 (-)5,074千円 ）

3 令和5年度に実施した主な事業

- ・牧野植物園南園無名橋橋梁補修設計委託
- ・牧野植物園新研究棟完成記念式典実施委託
- ・日本植物園協会大会運営委託
- ・牧野植物園南園無名橋橋梁補修工事

Ⅲ 牧野植物園磨き上げ整備事業費（ 281,727千円 (-)35,927千円 (償)245,800千円 ）

1 目的

牧野植物園の新たな魅力を創出するための整備を行う。

2 内容

(1) 土木システム保守管理委託料（ 632千円 (-)632千円 ）

(2) 測量設計等委託料

- ・南園再整備建築工事監理委託料（ 178千円 (-)178千円 ）
- ・栽培技術棟建築工事監理委託料（ 778千円 (-)778千円 ）

(3) 工事請負費

- ・牧野植物園南園再整備工事請負費（ 44,669千円 (-)11,169千円 (償)33,500千円 ）
- ・牧野植物園南園再整備建築工事請負費（ 23,982千円 (-)6,082千円 (償)17,900千円 ）
- ・牧野植物園栽培技術棟建築工事請負費（ 78,265千円 (-)14,665千円 (償)63,600千円 ）
- ・牧野植物園長江圃場高台移転敷地造成工事請負費（ 131,740千円 (-)940千円 (償)130,800千円 ）

(4) 事務費

- ・栽培技術課仮設事務所賃借料ほか（ 1,483千円 (-)1,483千円 ）

3 令和5年度に実施した主な事業

- ・牧野植物園南園施設解体・改修工事監理委託
- ・牧野植物園長江圃場高台移転実施設計委託
- ・牧野植物園南園敷地造成工事
- ・牧野植物園南園施設解体・改修工事
- ・牧野植物園新研究棟背後急傾斜地排水対策工事

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	4,856	4,856	4,855			4,855

1 目的

高知県環境基本計画第五次計画（令和3年4月策定）の目指す3つの社会づくり（脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会）を実現するために、NPOや任意団体等が行う地球温暖化対策の啓発活動や河川の環境保全及び環境学習等に対して総合的に支援する。

2 内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（4,855千円（-）4,855千円）

環境基本計画の方向性に沿った県内で行う取組であり、次に掲げる3つの基本方針に資すると認められるハード事業及びソフト事業

- ・地球温暖化への対策
- ・循環型社会への取組（3Rの推進等）
- ・自然環境を守る取組

補助事業者：特定非営利活動法人環境の杜こうち

補助率：定額

補助金の内訳：事業費 3,500千円 附帯事務費 1,355千円

事業実施主体：NPO等（公益法人を含む）

3 令和5年度に実施した主な事業

補助金交付実績

○一般事業：6件

- ・公益社団法人生態系トラスト協会（500千円：外来種サンジャクの行動圏調査、シンポジウム）
- ・日本防災植物協会会（500千円：防災植物の普及活動）
- ・土佐清水ジオパーク推進協議会（452千円：希少植物マルバティショウソウの保全活動）
- ・ジンデ池生物研究所（488千円：ジンデ池の生物多様性を未来へつなぐ保全活動） ほか2件

○ステップアップ事業：1件

- ・いきものや（158千円：高知県内の生物情報の収集、整理、保管、発信）

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
環境活動支援センター事業費	18,309	18,309	17,790		(入) 4,424 (諸) 300	13,066

1 目的

県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、情報発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性こうち戦略に基づく普及啓発などの事業を実施することにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境に優しいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すため、環境活動支援センター（えこらぼ）を運営する。

2 内容

(1) 環境活動支援センター事業費（17,790千円（-）13,066千円（入）4,424千円（諸）300千円）

県民の環境活動を支援し、環境学習などを推進する拠点としての環境活動支援センター（えこらぼ）の運営及び普及啓発等を行う。

委託先：特定非営利活動法人環境の杜こうち

委託期間：令和5年度～令和7年度（3年間）

3 令和5年度に実施した主な事業

○情報発信

- ・ホームページの運営
- ・メールマガジンの配信、SNSによる情報発信等

○環境学習支援

- ・環境学習の講師紹介・派遣
- ・環境絵日記コンテスト
- ・こどもエコクラブ事業

○生物多様性こうち戦略の推進

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座・活動現場体験ツアー
- ・表彰事業「ふるさとこのいのちをつなぐ生物多様性こうちプラン大賞」の開催

○その他

- ・地域イベントへの出展
- ・環境学習プログラムの作成

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	
1 目的及び内容 自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災又は破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。 2 令和5年度に実施した主な事業 事業実施なし						

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,407	1,407	1,412		(財) 62 (越) 1,350	
1 目的 高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。 2 内容 県が取得した土地の維持管理を行う。						